

# すもと 市議会だより

第 5 号

平成19年7月15日

編集発行 洲本市議会  
TEL 0799-22-3321(代)  
FAX 0799-22-3092

// 6月定例会市議会 //



初夏の由良湾

## 議案16件を原案可決、同意

### 専決処分承認案件は承認

#### 主な内容

##### 《専決処分の承認》

- ・平成18年度洲本市一般会計補正予算（第6号）
- ・平成18年度洲本市CATV事業特別会計補正予算（第4号）
- ・洲本市税条例の一部を改正する条例制定
- ・洲本市福祉事務所設置条例の一部改正
- ・洲本市職員の給与の特例に関する条例の一部改正
- ・訴訟の提起
- ・平成19年度洲本市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- ・平成19年度洲本市老人保健医療特別会計補正予算（第1号）

##### 《補正予算関係議案》

- ・平成19年度洲本市一般会計補正予算（第1号）
- ・平成19年度洲本市下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- ・平成19年度洲本市CATV事業特別会計補正予算（第1号）

##### 《条例及びその他議案》

- ・洲本市恩給条例の廃止
- ・洲本市消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- ・洲本市交通遺児奨学金支給条例及び洲本市母子家庭等児童就学祝金支給に関する条例の一部改正
- ・洲本市霊園の設置及び管理に関する条例の一部改正
- ・南あわじ市・洲本市小中学校組合規約の変更
- ・洲本市・南あわじ市山林事務組合規約の変更
- ・洲本市・南あわじ市衛生事務組合規約の変更
- ・淡路広域行政事務組合規約の変更
- ・淡路市・洲本市広域事務組合規約の変更 ほか2件

##### 《人事議案》

- ・由良財産区管理委員（7名）に同意

6月定例市議会は、6月8日から6月20日までの13日間開催し、専決処分承認案件、報告案件、条例及び規約の一部改正、人事案件など、計16件が提案され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認、可決、同意いたしました。

また、第3日(20日)には、1件の意見書が提出され、原案のとおり可決されました。

今回は8名の議員が一般質問に立ち、理事者に対して行政のあり方や施策の考え方などをいただきました。紙面の都合からその一部を要旨で掲載いたします。

## 一般質問 要旨

### 子育て施策

#### ブックスタート

Q 乳幼児に絵本を配り、本を通して赤ちゃんと保護者が楽しいひと時を分かち合うことを応援するブックスタートは、英国バーミンガム市からはじまり、今や全世界に広がっている。国内においても全国598の自治体で行われている。

このブックスタートを受

けた家庭を英国のバーミンガム大学教育学部が追跡調査した結果、家庭での本に対する意識が高まっていることが分かっている。本市以外の島内自治体ではすでに実施しており、同様に取組めないのか。



図書館の絵本

A 本市においては、乳児健診時に図書館の職員が出張して、親子で絵本を読むことの大切さをお伝えしています。絵本の贈呈については、立派な図書館が2館あり、絵本もたくさん置いてありますので、図書館の貸し出し等を利用していただきたいと思えます。

### 行政課題

#### 元気な洲本

Q 本市の厳しい財政事情を乗り越えるには、市長の

強いリーダーシップと幹部職員、役職員が厳しい財政事情を認識し、職員全員が市民の先頭に立ち、市民のために何が何でもがんばるという姿勢を見せれば、市民も少々の無理は理解し協力すると思う。しかし、市長の言う元気な洲本の姿が理解し難く、具体的な取り組みの説明は出来ないか。

A 元気な洲本に向けての取り組みとして、一つは市民の皆さんの市役所、職員に対する信用と信頼を勝ち取ること、そのために挨拶や書類の誤字脱字など、普通のこと、小さなことの積み重ねが大切と考えます。また、もう一つは50年、100年単位で安定策を考え、日銭の入ってくるような国家的事業を呼ぶか、洲本独自の独創的な事業を起こすことなど考えたいと思えます。

#### 事務改善

Q 事務処理、行政処理の改善はまだまだあるように思う。例えば、町内会等による市道の草刈や側溝の土砂除去に対し、費用の助成を行っているが、申請には、申請書のほか作業前後、作業中の写真添付が必要である。市民参加による地域の

良好な環境保全は良いことであるが、手続きが煩雑になると市民の皆さんがボランティアとして作業をしてくれないのではないかとこの意見もある。市としてはどう考えるのか。

A 事例とされました道路河川愛護作業実施届ですが、市の公金を報奨金として支出させていただいていますので、最低限の証しとして、作業前、作業中、作業後の写真の添付をお願いしています。

事務改善については五色と洲本の2つの行政体が一緒になりましたので、取り扱いの違いが表面化している部分もありますが、いつの時代にも見直さねばならないと考えます。

### 環境問題

#### ごみの不法投棄

Q ごみの不法投棄がふえている。罰則を設けるなどの防止策を講じているが、実質的な効果が出ていない現状にある。今後、行政としてどのような対応をしていくのか。

A 不法投棄については、社会のモラルが問われている状態であり、マナー向上

の啓発や意識改革が課題と考えます。美しいまちづくりのためには、ルールを守っていただくということで、不法投棄への目を光らせてもらうよう地域の方々をお願いするとともに、不法投棄パトロール、クリーンアップキャンペーンなども行つてまいります。



不法投棄禁止立て札

#### 鉄鋼スラグ

Q 五色鳥飼地域の山間部に鉄鋼スラグが埋め立て、山積みされている。その量は、今年の2月段階で既に10万トンを超えたと聞いているが、市として現地確認、状況把握をしているのか。これは産業廃棄物ではないのか。

A この件については県の担当となりますが、県から連絡があり、担当課長が現地を見て状況把握はしてい

ます。また、鉄鋼スラグについても県に確認したところ、グリーン購入法の特定調達品目で、アスファルトやコンクリート用の骨材として利用されるもので、産業廃棄物ではないと聞いています。

### 教育行政

#### 給食と地産地消

Q 本年3月策定の食育推進基本計画では、学校給食において地場農産物を平成22年度までに30%以上とする目標が定められている。現在の地元産物の使用割合はいくらか。

また、昨年4月より栄養教諭制度がスタートしたが、本市の配置状況は。

A 学校給食の食材については、国内産の食材を基本に可能な限り地元食材の使用に努めています。品目や季節にもよりますが、概ね25%から35%は島内産の食材を使用しています。あわせて、平成17年度から地元産品を使用したメニューを開発し、幾つかのメニューを導入いたしました。

なお、栄養教諭1名、栄養職員3名が市内に配置されています。

## 昼食弁当販売方式

Q ある市では、弁当持参を基本としながら弁当を持参できない生徒に対する昼食対策として、業者による弁当の注文販売を実施している。これらの業者には選定条件として安全面や配送、受け渡し等の条件を付け、9校の中学校で、3社の業者と協定を結んでいる。本市の中学校給食未実施校については、完全給食を実施すべきと考えるが、設備投資等の投資額が多大であり、完全給食を実施するまでの補完的な措置として同様の制度導入を提案するがどうか。



学校給食

A 小学校、中学校という大切な成長過程の中で、バランスのとれた食生活を送

ることは重要なことであり、その観点からも学校給食の果たす役割は大きいと考えています。教育委員会としては、本市の置かれている現状や未実施校の実情等を勘案しながら、昼食弁当の販売システムも一つの選択肢として、今後、調査、検討したいと考えています。

## 図書館運営

Q 洲本・五色両図書館のコンピュータシステムの統合など、サービスの充実を図っているが、更に地域に愛され親しまれる館を目指し、人が来るのを待つ図書館から、人が集まる図書館となるための努力と工夫、有効活用についてどのように考え、取り組まれているのか伺いたい。

A 図書館は人づくり、まちの活性化等の観点から、生涯学習の拠点、市民交流の拠点と認識しています。両図書館では、ボランティアの方々のご支援を受け、おはなし会や講座、親子工作等を積極的に実施しています。

また、洲本図書館では、毎年、世代間交流の企画として、図書館市民まつりを実施、五色図書館では、成

人サークル活動、施設壁面を利用した絵画、書画の展示なども行っています。

## 学校耐震化

Q 本市教育施設の耐震診断等による大規模改修等は耐震化のため改築される洲浜中学校校舎以外は終了しているのか。

A 平成19年4月1日現在の学校の耐震化率は62.2%で、全国平均の58.6%、県平均の57.9%より、若干上回っています。改修が必要な学校は、校舎では小学校4校、中学校2校、屋内体育館で小学校6校、中学校2校となっています。

## 道路交通問題

### オニオンロード

Q 広域農道南淡路地区、通称オニオンロード整備事業は、地域の農産物の流通ルートの確保や農業基盤の整備を行い、農村の生活環境を改良している。しかし、洲本域内の県土木施工分

である千草の原池から、駐在所の間が未着手である。これまで、地元関係者が再三にわたり着工を要請しているが、今後の取り組みはどうなっているのか。

A オニオンロードの洲本域内の区間は、全長5.6キロメートルで、そのうち2.1キロメートルが道路改良事業として取り組む位置づけとなっています。この事業については、地元地権者や周辺の方々から熱い期待が寄せられていることを十分認識し、これまでも県に対して強く働きかけていたところですが、現時点では、県にもよく理解いただいております。早急な対応に理解を示されていますと受け止めています。



オニオンロード未着工現地

### 洲本橋周辺整備

Q 国道28号の西来寺側の歩道が狭く、人が対面通行できないため歩道とは言

ない現状である。現在、洲本橋の付け替え工事を行っているが、この機に周辺歩道等も整備し、拡張できないか。

A 西来寺横の歩道の拡幅は、洲本橋の付け替え工事とは別に、道路の環境整備安全施設の整備という視点で、別途国土交通省に対して住民の意向を踏まえた要望、働きかけをしていくことになるかと考えます。

## 財政問題

### 集中改革プラン

Q 集中改革プランを実現するため、平成20年度の予算編成に入る前に、事務事業、公的施設、補助金をサマレレビュー（夏の総点検）によって徹底的に検証し、財源不足の解消に取り組みと聞く。行財政改革においては、伸ばすべきものは伸ばし、見直すべきものは大胆に見直し、施策の重点化を図るべきと考えるが、今後の目標は。

A 今後の目標として概数ですが、18年度実績ベースでの削減効果額は、人件費の削減で1億7400万円、補助金等の見直しで、2900万円、繰出金の節減で

3300万円、市有地売却収入で7億7000万円。これらを合わせて10億600万円の削減効果が見込まれています。平成19年度以降については、サマレレビューによる事務事業の見直しを行い、平成22年度までの目標額である累計で56億円の経費削減を目指します。また、集中改革プランの目標達成度は、毎年検証し、結果をホームページ等で公表します。

### 財政状況

Q 財政悪化については、いろいろと何回も聞き知るところだが、本市の財政悪化の程度、あるいは窮乏の状況はどの程度なのか。

A 市の財政状況は、合併前の短期間に施設建設が集中したため、施設維持、建設にかかる物件費、公債費が増加するなど不効率な部分が見られ、平成22年までに収入不足が39億円に達する見込みです。これは、破綻寸前ではありませんが、危険水準の領域であり、問題のない団体Aから破綻した団体をEランクとした範囲で分類すると、本市はDランクにあると考えます。

## まちづくり

### AEDの整備

Q 心臓発作（心室細動）を起こし、心停止となる多くの方は、心臓病の方や高齢者に多いと考えられていたが、最近、胸郭が柔らかく、衝撃が心臓に伝わりやすい子どもや若い人でも、比較的弱い衝撃があるタイミングで心臓に伝わった時に心室細動が発生し、危険な状態となることが分かってきた。AED（自動体外式除細動器）の小中学校、スポーツ施設などへの設置が望まれるが本市の設置状況は。また、スポーツ競技や各種イベント時に無料で貸し出すことは出来ないか。

A 現在、市の所管する施設等では、市民交流センター、文化体育館、アスパ五色の3施設に5台。健康福祉館、総合福祉会館、デイサービスセンターうしろ、堺診療所、健康道場、市役所本庁舎、五色庁舎に各1台の計12台が設置されています。また、特別養護老人ホームについては、五色診療所にカウンターショック装置があり、それでの対応となっています。

AEDの貸し出しについては、心肺蘇生法等の救命講習の訓練の受講者が取り扱う場合貸し出すというようなルールづくりを検討すべきと考えます。



AED（自動体外式除細動器）

### 青色防犯灯

Q 犯罪防止効果が期待されるとして、青色防犯灯を設置する自治体が増えてきた。他の色に比べ感情を鎮め、夜間の見通しがよい青色の色彩効果が犯罪防止に役立てようというもので、全国に先駆けて設置した奈良の警察によると犯罪発生率で3倍の差があったという。本市でも、試験的に青色防犯灯を設置できないか。

A 青色防犯灯の設置は、

奈良市をはじめ、全国各地の自治体や自治会で取り組まれ、犯罪防止に対して一定の成果を発揮していることは聞き及んでいます。本市での導入については、先進地での実施状況を詳細に情報収集し、経済性、耐久性、景観への配慮等、十分研究してまいりたいと考えます。

### 人事議案

#### 由良財産区管理委員

- ・都 正男氏
- ・渡邊 美宣氏
- ・花野 晃一氏
- ・藤本 福雄氏
- ・中村 仁志氏
- ・大村 佐登志氏
- ・武田 正和氏

### 表彰

去る6月19日、日比谷公会堂で開催されました全国市議会議長会総会において、左記の2名の議員が同議長会より表彰（議員在職10年以上）されました。

- ・小松 茂
- ・地村 耕一良

## 常任委員会審査状況

### 総務常任委員会

一般会計補正予算では債務負担行為の追加補正を、その他CATV事業特別会計補正予算、淡路広域消防事務組合規約の変更、淡路広域水道企業団規約の変更等、12件について審査のため、14日に委員会を開催。審査の結果、いずれも全会一致で原案のとおり可決。

### 教育民生常任委員会

洲本市立図書館の設置及び管理に関する条例並びに洲本市立淡路文化史料館の

設置及び管理に関する条例の一部改正の1件について審査のため、12日に委員会を開催。

審査の結果、全会一致で原案のとおり可決。

また請願1件については、全会一致で採択。

### 産業建設常任委員会

下水道事業特別会計補正予算、洲本市霊園の設置及び管理に関する条例の一部改正の2件について審査のため、13日に委員会を開催。

審査の結果、いずれも全会一致で原案のとおり可決。

### 請願

「次期定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の堅持を求めることに関する請願書」は、全会一致で採択と決しました。

### 意見書

「次期定数改善計画の実施と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書」を、全会一致で可決し、内閣総理大臣、文部科学大臣等、関係機関に送付しました。

### 議会もエコスタイルで

洲本市議会では、6月から9月末日まで、本会議を初めとする各種会議にエコスタイルの軽装で臨み、適正冷房（概ね28℃）に努めています。

これは、省エネルギーの一層の推進を通じて、地球温暖化防止を図ることを目的としたものです。

市民の皆様にも、その趣旨にご理解、ご賛同を賜り、身近なところからの取り組みにご協力をお願いします。

### 6月定例会の日程

- 8日（閉会）本会議
  - ・専決処分承認案件を上程、説明、質疑、採決
  - ・専決処分及び繰越明許費繰越計算書の報告案件を上程、説明、質疑
  - ・議案15件を上程、説明、質疑、一般質問4議員
- 11日 本会議
  - ・質疑、一般質問4議員
  - ・議案15件を各常任委員会に付託
  - ・請願1件を上程、教育民生常任委員会に付託
- 12日 委員会審査
  - ・教育民生常任委員会
- 13日 委員会審査
  - ・産業建設常任委員会
- 14日 委員会審査
  - ・総務常任委員会
- 15日
  - ・議会運営委員会
- 20日 本会議
  - ・議案15件の委員会審査報告、質疑、討論、採決
  - ・人事議案1件を上程、質疑、採決
  - ・請願1件の委員会審査報告、質疑、討論、採決
  - ・意見書案1件を追加上程、採決
  - ・議員派遣を上程、採決
  - ・閉会中の所管事務調査事項を決定（閉会）